

【ご参考資料】

2014年7月18日

7月17日の南アフリカの政策金利の引き上げについて

政策金利を5.5%から5.75%に引き上げ

7月17日、南アフリカ準備銀行(中央銀行)は金融政策決定会合において、政策金利であるレポ金利を0.25%引き上げ、年率5.75%とすることを決定しました。2014年1月以来の利上げとなります。市場の約半数は利上げを予想していました。

同中銀は前回の金融政策決定会合時の声明文において、「金利は上昇サイクルにあり、しかるべき時期に正常化する必要があるとの見解を維持し続けている」と付け加えており、市場では、追加の利上げタイミングを計っていると見られていました。

景気支援とインフレの抑制のバランスをとった格好

今回の利上げの目的には、インフレの抑制がありません。国内経済成長が鈍化している中、同中銀は小幅な利上げにとどめたことで、景気支援とインフレの抑制のバランスをとったものと見られます。

5月27日に発表された1~3月期実質GDP(国内総生産)成長率は、前年同期比で+1.6%となり、前四半期と市場予想を下回りました。プラチナ鉱山でのストライキが長引き、鉱業生産が落ち込んだことなどが要因となりました。一方、5月のインフレ率は前年同月比+6.6%となり、同中銀の目標インフレ率の上限である+6.0%を上回って推移しています。

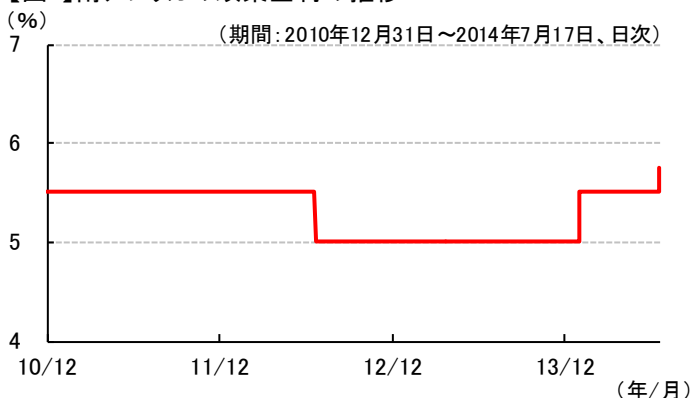
今回の声明において同中銀は、「国内経済の支援に向けた金融政策スタンスを維持する」とし、今後の動きは経済指標次第としています。一部の市場参加者は、2015年半ばまでの追加の利上げを予測しています。

7月17日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドルで前日比0.7%程度、対円で同1.2%程度の南アフリカランド安となりました。

次回の金融政策決定会合は2014年9月16-18日に開催される予定です。

以上

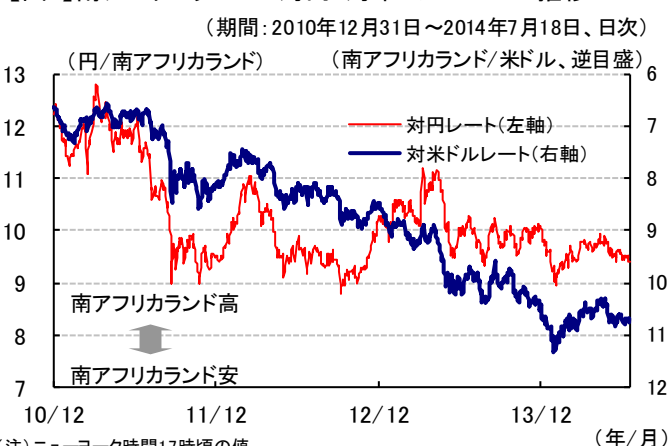
【図1】南アフリカの政策金利の推移



【図2】南アフリカの消費者物価指数(前年同月比)の推移



【図3】南アフリカランドの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成